

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	きらりはーと那覇新都心				公表日	令和 7年 3月31日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	広く使うため体操用具等は適時片付け、机も折りたたみ式で用途に応じて設置してスペースを確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	人員基準以上の職員を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	4		上り下り困難な利用児がいないため、現状改善予定なし。訓練室では広く使えるよう段差や死角を作らないようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	広く使うため体操用具等は適時片付け、机も折りたたみ式で用途に応じて設置している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	相談室を設けており、気持ちの切り替えや宿題などできるように常時開放している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	日々の振り返りも終礼時に行い、明日以降の改善に繋げている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	評価する機会を設けており、改善の必要があるものは即改善し、説明を行っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	朝礼や終礼時に意見の出し合いを行ったり、定期的に面談する機会を設け意見があれば、改善や提案に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	4		行っていないが、保護者から頂く声で必要な改善を行っている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	定期的に職員研修を行っている。体操研修や、虐待研修など行っている。	
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	毎月の体操、活動内容をお便りやSNS等を利用して保護者等に公開している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	アセスメントシートをもとに子の課題面、保護者からの困り感等聴き取りを行い、職員間でMTGを行った上で、計画を立てている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	職員間で情報共有しており都度話し合いをして最善の支援の形を検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	計画の内容等を全職員で共有して各こどもに沿った支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	標準化されたツールを用いており、行動観察を含むアセスメントも個別計画に落とし込んでいる。確認しながら行っている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	ガイドラインに沿った支援内容で設定し、職員でMTGを開き、共通認識のもと支援内容を蹴っているしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	児発管が中心となり職員間で連携し、療育活動の立案をスケジュールを組み行っている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	週ごとに発展していくようなプランを組み立てたり、すでに取り入れている療育活動でも内容を変え工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別での支援と集団活動を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎朝のMTGにて実施し、その子に応じて必要な配慮する点の共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	当日の支援終了後に、当日の出来事や共有事項、振り返りを行っており、改善点を洗い出し翌日以降の支援の向上に繋げている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	毎日記録をつけており、振り返りを行いながら支援に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年ごとにモニタリングを行い、支援プランの見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	基本活動を複数組み合わせ、組みなおしたりし取り組んでいる。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	子どもの成長に応じながら、自己選択ができるよう、考えさせることを大切にし支援に取り組んでいる。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	会議参加の際には事前に職員でこどもの情報共有を行い誰が参加してもよい体制を整えている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	3		整えられていないため、検討し体制を整えていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	保護者へお願いをし情報を頂いている。時には学校の先生よりお便りを頂くこともある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		連携・情報共有は出来ている利用児とそうでない児童がいるため、できる体制を整えていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3		今のところ就労へ移行してる利用者がいない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		児童発達支援センターとの横のつながりを増やしていき連携を取りながら助言等を受ける機会を設けていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	児童館や公園での活動等では他のこどもたちと交流する機会もあり継続して地域交流をしていきたい。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		できていないため、できる対策を整えて検討していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時やお迎えの際に、個別に子育てなどの相談を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	必要に応じて、研修や講習の情報を伝えている。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に、保護者と確認をしながら行っている。		
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	日々の活動記録や職員間での情報共有も交えながらこどもや保護者の意見を尊重して支援計画を作成している。		
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	支援内容を口頭で説明して確認したうえ計画書を渡している。		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	送迎の際に保護者からの相談や悩みなども聞いており、職員全体で情報共有して必要な助言など支援について話し合っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	4		今後保護者との交流会も企画していき保護者同士での横のつながりを強くできるように支援していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	都度情報共有しながら迅速かつ適切に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月の体操、活動内容をお便りやSNS等を利用して保護者等に公開し発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報私用同意書を確認し、写真掲載に関しても同意書をもらっている。慎重に行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	個別に対応しており、子・保護者に寄り添い対応をするよう職員間で連携しており、心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		感染症対策のためおこなっていなかったが、検討し運営できるよう体制を整えていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	職員間での共有ができており、契約時などで保護者に周知をしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	半年に一度、避難訓練を行っている。避難バッグの中身を実際に確認している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に、保護者と確認をしながら行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	保護者と連携し、完全除去で対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	マニュアルを作成している。定期的に研修受講をしており、職員間での共有も行っている。都度新しい物を作成していく。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	事業所での安全に対する取り組み内容を保護者にも共有している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	ヒヤリと思う事態があると作成し、職員で共有をし、改善策や防止策を話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	マニュアルを作成している。定期的に研修受講をしており、職員間での共有も行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	やむを得ない（利用児の危険に関わる）身体拘束等、職員間で周知徹底し、体験や契約時に保護者へその旨を伝えている。		